

# SPIKES

悪い知らせを話し合う場合のロードマップ

ステップ	例・ポイント
SET UP 会話に備える	<ul style="list-style-type: none"><li>・話し合いに必要なものがすべてそろっているか確認する。</li></ul> 今日の話し合いに必要な情報 参加すべき人々 プライバシーの保たれる場所
PERCEPTION 患者の理解を把握する	「あなたの病気について、今まで他の医師からどのようなことを聞きましたか？」
INVITATION 本題に入る前に 患者の許可を得る	「これから前回の検査の結果をお話してもよろしいですか？」 <ul style="list-style-type: none"><li>・話し合いの流れを作る権限を患者に与える。</li></ul>
KNOWLEDGE 簡単にわかりやすく 伝える	「肺癌が悪くなっていることがわかりました。もうこれ以上抗がん剤の治療は続けられません。」 <ul style="list-style-type: none"><li>・患者に理解してほしい最も重要な情報を短くわかりやすく話し、その意味を伝える。(Headline)</li><li>・専門用語は避ける。</li><li>・Headline を伝えたら、次の情報を話す前に一度話すのをやめる。</li></ul>
EMOTION 患者の感情に対応する	「こんな話を聞いてつらいですね。」 <ul style="list-style-type: none"><li>・患者の最初の反応は、感情であると心積もりをしておく。</li><li>・感情をはっきりと認識する。</li><li>・NURSE (感情に対応するスキル) を使う</li></ul>
SUMMARIZE 話し合った内容や今後の方針をまとめる	「これからどうするかに関してお話してもよろしいですか？」 <ul style="list-style-type: none"><li>・患者の心配していることを否定したり、「すべて大丈夫ですよ」と言ったりしない。</li></ul>